

令和2年度 林業普及週間現地情報 (8/3～8/7)

森林管理課

ヤエヤマシタン、リュウキュウマツの木目

8月6日(木)

昨年度、大本小学校のご厚意により分けていただいたヤエヤマシタンのタネを八重山合同庁舎内のベランダでバーミキュライトに播種したところ、順調に発芽したため、先日ポットに床替えを行った(写真1)。

ヤエヤマシタンはマメ課の植物で、国内では石垣島のみで自生していると言われており、その木肌は美しく光沢があることから、家具材又は建築用材として乱伐され、環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧ⅠA類に指定されている貴重種である。また、平久保に自生する2本のヤエヤマシタンについては、国の天然記念物にも指定されている。

貴重なヤエヤマシタンを使った木製品を見せてもらうべく、トマイ木工所を訪問し、そのお皿を見せていただいたところ、心材部分は濃い茶色で、辺材との境目ははっきりとした木目であった(写真2)。

トマイ木工所の戸眞伊氏によると、ほとんどの樹木には赤と白の2種類のタイプがあり、それによって樹皮や木目が異なるとのこと。実際にリュウキュウマツの赤と白の木目を見せていただくと、違いは一目瞭然で、赤は木目に乱れがなく素直な印象がある一方、白は木目が複雑であった(写真3)。また、白のタイプは非常に珍しく、日光に透かして見ると油分が多い場所はオレンジ色に透けて、綺麗な木目が現れるとのことであった(写真4)。

今後も石垣島内の木工業者との情報交換により、木材等についての知見の習得・普及を図っていきたい。



写真1 ヤエヤマシタンの苗



写真2 ヤエヤマシタンの木目

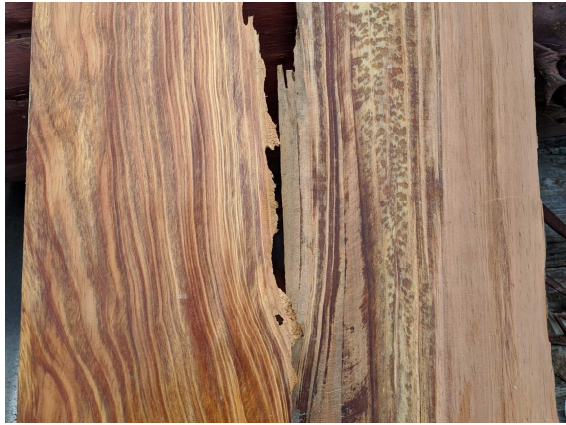


写真3 リュウキュウマツの木目
(左：白、右：赤)

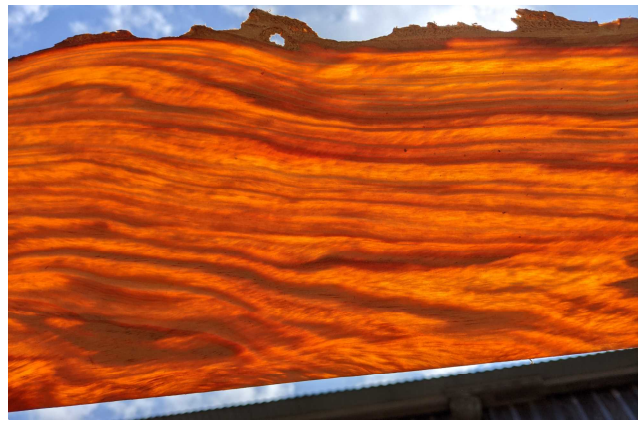


写真4 リュウキュウマツ（白）

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)